

漢方生薬学

(Kampo and Pharmacognosy)

担当教員

教授 松田 久司

准教授 中村 誠宏

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	3年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

現在、多くの医療機関で漢方薬が用いられ、薬局においても漢方薬を基にしたOTC医薬品が数多く販売されている。漢方薬は西洋薬とはまったく異なる医療体系や理論を有する漢方医学における独特の診断と治療法に従って投薬される。薬剤師は漢方医学の考え方や特徴をはじめ、代表的な漢方処方への適応および配合生薬について習得して、服薬指導することが求められている。この講義では、漢方医学の基礎的な知識、代表的な漢方処方の応用、および配合生薬について習得する。

【授業の一般目標】

現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解するために、漢方医学の考え方、代表的な漢方処方の応用、配合生薬についての基本的知識を習得する。

【準備学習(予習・復習)】

予習として教科書の事前箇所を読んでおくこと。受講後は、教科書や配布プリントに記載した重要箇所を見直すこと。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	漢方薬学の歴史	松田	漢方薬学の歴史について概説できる。	C7-(3)-1-1
2	漢方薬の科学的根拠	松田	代表的な漢方薬の薬理作用とEBMについて概説できる。	C7-(3)-2-1
3	漢方薬学の特徴(1)	松田	漢方薬学の特徴について概説できる。(1)	C7-(3)-1-1, 2, 3
4	漢方薬学の特徴(2)	松田	漢方薬学の特徴について概説できる。(2)	C7-(3)-1-1, 2, 3
5	漢方薬学の特徴(3)	松田	漢方薬学の特徴について概説できる。(3)	C7-(3)-1-1, 2, 3
6	代表的な漢方処方(1)	松田	日本薬局方にエキス剤として記載されている漢方処方について適応症と配合生薬を説明できる。	C7-(3)-1-5, 7
7	代表的な漢方処方(2)	松田	常用漢方処方の使用目標(証)(1)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
8	代表的な漢方処方(3)	松田	常用漢方処方の使用目標(証)(2)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
9	代表的な漢方処方(4)	松田	常用漢方処方の使用目標(証)(3)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
10	代表的な漢方処方(5)	松田	常用漢方処方の使用目標(証)(4)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
11	漢方薬を構成する生薬(1)	松田	代表的な漢方薬を構成する生薬について説明できる。(1)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
12	漢方薬を構成する生薬(2)	松田	代表的な漢方薬を構成する生薬について説明できる。(2)	C7-(3)-1-4, 5, 6 C7-(3)-2-1
13	漢方薬の副作用と注意事項(1)	中村誠	代表的な漢方薬の使用上の注意と副作用について説明できる。(1)	C7-(3)-2-2
14	漢方薬の副作用と注意事項(2)	松田	代表的な漢方薬の使用上の注意と副作用について説明できる。(2)	C7-(3)-2-2
15	総括・まとめ			

(書名) (著者・編者) (発行所)
教科書 ベーシック薬学教科書シリーズ：生 吉川雅之、他 化学同人
薬学・天然物化学
プリント配布

参考書 病態からみた漢方薬物ガイドライン 岡村信幸

京都廣川書店

【成績評価方法・基準】

受講態度（10％）、定期試験（90％）で評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：月～金の17時～18時；授業内容に関する質問がある場合には研究室（南校舎 フロント
ィア研究棟1階 生薬学分野）に直接来るか、または、メールでも受け付けます。出張等でオフィスアワー
を持ってないときもありますので、メール等で前もって尋ねてください。